

第三者意見



2011年の「関西国際空港CSR報告書」は画期的である。まず、ブランドメッセージを明示し、「24時間、こころ動かす空港 KIX」という新しいブランドスローガン・ロゴマークを創ったこと、大阪国際空港との経営統合を飛躍へのチャンスと受けとめて、関西国際空港の成長・発展の新しい戦略を展開していること、さらにページ数を大幅に増やして、多くのページに空間を設けて読みやすくしていることなどで、報告書のスタイルが一新されていて、非常に親しみやすい報告書になっている。

関西国際空港は、「お客様第一主義で安心・安全な空港」、「環境にやさしく地域に貢献する空港」、「24時間、関西と世界をつなぐ空港」を目指しているが、その目標に向かって着実に前進し続けている有言実行の空港であると言える。具体的には、アジア・中国とのつながり、自然災害に強いエコアイランド、貨物のハブ空港、LCCの誘致、地域との共存共栄への様々な取り組みを実施してきている。

さらに、本報告書では小学生の関西国際空港に対する生の声が掲載されていて、これは新鮮で楽しい読み物であった。今後も、こどもたち、女性客、そしてお年寄りの声も反映させると、より親しみやすい報告書になると思われる。

CSRは企業が社会に与える影響に責任を持ち、企業活動の説明を行うものであるが、情報の公開性や読みやすさを考慮すれば、関西国際空港のCSR報告書は最高水準の報告書であると評価できる。



関西国際空港は、KIXブランディング活動で策定したスローガン『24時間、こころ動かす空港』をお客様への約束として発信されました。この約束を顕著に具現化されたのが、複数滑走路と24時間運用という特色を持つ関西国際空港の強みをフルに発揮された東日本大震災発生時のダイバート便受け入れでした。報告書の特集記事として詳しく紹介されていますが、空港オペレーション部や、震災当日不意に空港に滞留された800名ものお客様に夜通し営業した飲食店など空港施設関係者の素晴らしい対応により、震災当日の28本のダイバート便を無事受け入れられました。この対応は高く評価できるものです。

公害のない、地域と共存共栄を目指した関西国際空港は、エコ愛ランド推進計画を策定し、さまざまな環境負荷低減活動が行なわれています。これは空港事業者として他の模範となるものです。今後、次の環境管理計画の策定が行なわれますが、大震災後のエネルギー状況を踏まえた、長期的な視点をもった計画と、現実的な実践を期待しています。

グローバルな競争環境にある関西国際空港では、CSRの視点からISO26000への対応も欠かせません。報告書では、人権についての記述も多くなりISO26000への配慮も示されています。今後は、ステイクホルダーとのコミュニケーションを通じて、関西国際空港のCSR活動の評価を含め、CSRとして対処すべき課題を話し合うことも重要です。

関西国際空港のCSR経営が、世界中の空港の目標となるように、さらなる発展を期待しています。

第三者ご意見をいただいて

今年度版「CSR報告書」の発行にあたり、宮本勝浩関西大学大学院教授、國部克彦神戸大学大学院教授からご意見をいただきました。一定のご評価と併せ、今後の空港経営における課題のご指摘と貴重なご示唆を頂戴したことに感謝申し上げます。

関西国際空港(KIX)は、高度経済成長期の航空輸送需要の急増と、大阪国際空港(伊丹)の騒音等環境問題の深刻化を背景に、大阪湾泉州沖5kmの人工島に4,000m級滑走路を複数備えた世界標準の空港として計画されました。整備の過程では、環境保全に最先端の知見が活用されたほか、成田国際空港とは異なり、我が国におけるパブリック・インボルブメント(PI)の先駆とされる地元協議の手順が踏まれました。

おかげさまで開港18年目を迎えたKIXの目指すところ、それは「安心で便利で快適な空港」を提供し続けることに尽きます。〈より良く、よりKIXらしく〉をカタチにすることであり、伊丹空港との「経営統合」後も変わることはない目標です。

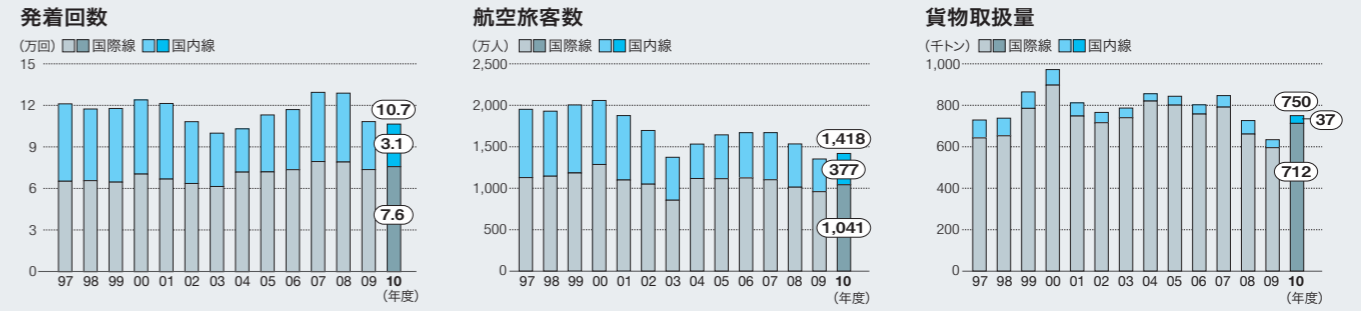
弊社では、関係者挙げてその達成に取り組むため「24時間、こころ動かす空港」をブランドスローガンに「KIXブランディング活動」を展開しているところですが、お客様にこころ動かしていただけるためにはこちらにまず「思い」がなければなりません。その「思い」とは、社会的責任CSRを支える「公(おおよけ)」という価値観にこそ根ざすべきものではないでしょうか。昨年発行のISO26000で「環境」「地域コミュニティへの参画」「人権」などが中核テーマとされているのを見ても、その思いを強くします。

その歴史をひも解けば「その誕生自体がCSR」とさえ言えるKIX。この空港ならではのCSRの実践にグループ全社挙げて努めてまいります。宮本教授、國部教授におかれましては、さらなるご指導ご助言をぜひお願いいたします。そして、ここまで読み進んでいただきました読者の皆様、これからもKIXをどうぞよろしく願います。

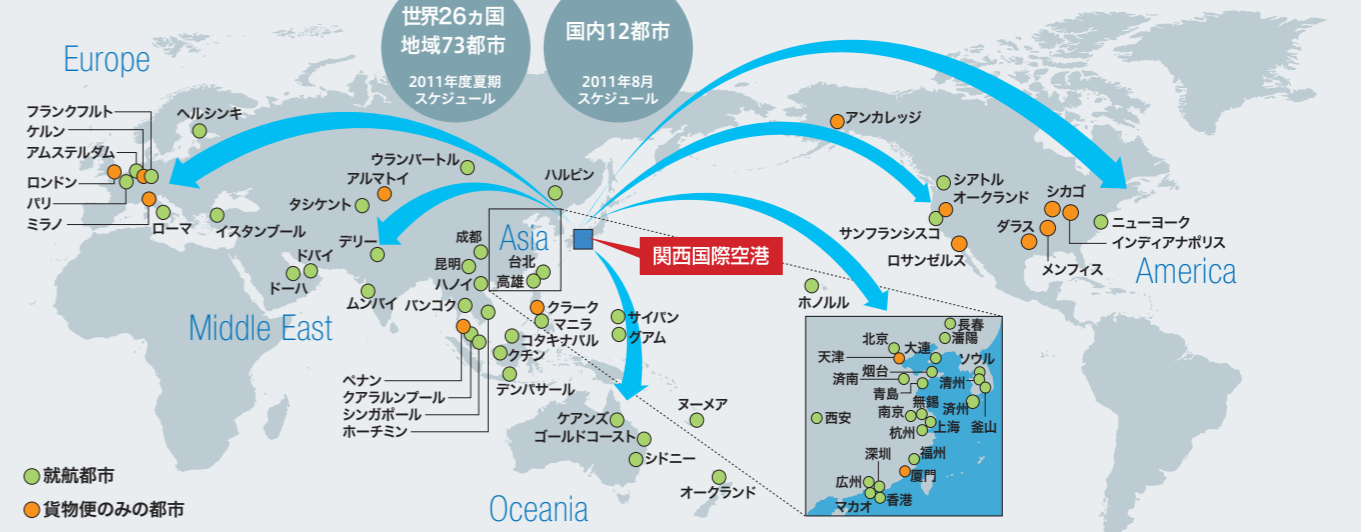
関西国際空港株式会社 専務取締役
コーポレート・コミュニケーション担当

伊藤 誠

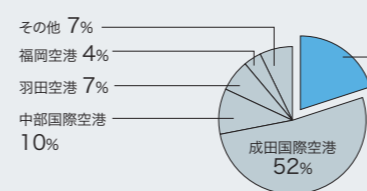
関西国際空港の概要



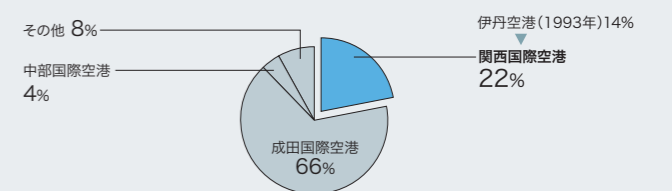
ネットワーク



日本人出入国者の割合 (2010年)



輸出航空貨物の割合 (2010年)



関西国際空港株式会社 (KIAC) の概要

社名 関西国際空港株式会社
設立年月日 1984年10月1日
本社所在地 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地
関西国際空港会社ビル 〒549-8501

代表者 代表取締役社長 福島 伸一
資本金 8,149億9,000万円

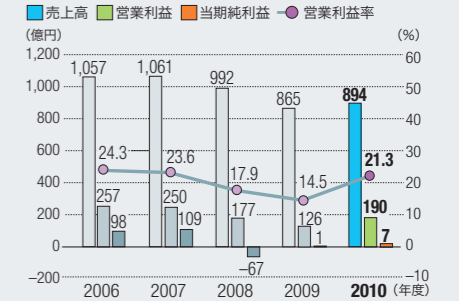
主な事業
当社は、関西国際空港の設置および管理を行うために、国・地方自治体・民間の共同出資で設立された特殊会社です。

- 主な事業は以下のとおりです。
- ・関西国際空港の設置および管理
 - ・関西国際空港の航空保安施設の設置および管理
 - ・関西国際空港に係る機能・利便施設の建設および管理
 - ・関西国際空港の連絡橋の建設および管理
 - ・関西国際空港の連絡鉄道施設の建設および経営

関西国際空港(KIAC)グループ会社
当社の連結子会社7社は、以下のとおり、空港の運営を図る上で必要な事業を行っています。

- ・関西国際空港熱供給株式会社(KHC)
事業認可を受けた供給地区における熱供給事業
- ・関西国際空港用地造成株式会社(KALD)
2期事業用地造成、造成用地の当社への貸与・譲渡
- ・関西国際空港情報通信ネットワーク株式会社(KNET)
空港島内における情報・通信サービス事業
- ・関西国際空港給油株式会社(KAFS)
給油施設の運営・管理事業
- ・関西国際空港施設エンジニア株式会社(KFE)
空港施設維持管理業務、環境衛生管理業務
- ・関西国際空港セキュリティ株式会社(KIAS)
空港島内における警備・消防・防災・駐車場管理業務
- ・株式会社関西エアポートエージェンシー(KAA)
保険代理店業、旅客サービス業、直営店舗事業

売上高・営業利益・当期純利益・営業利益率の推移 (連結)



社員数の推移

